



学校業務改善 伴走型支援事業

青森県教育庁
教育政策課

事業の目的・概要

学校が自発的・主体的に働き方改革を行うことができるよう、外部コンサルタントを活用した伴走型支援を実施。

R 6 年度実施校

小学校(4校)

五所川原市立金木小学校、弘前市立第三大成小学校、十和田市立北園小学校、三沢市立岡三沢小学校

中学校(5校)

平内町立平内中学校、野辺地町立野辺地中学校、むつ市立関根中学校、八戸市立第三中学校、五戸町立五戸中学校

高等学校(2校)

八戸高等学校、田名部高等学校

校内ワークショップの流れ（例）

STEP
01

アイデア
出し



STEP
02

アイデアの
仕分け



STEP
03

テーマ選び



STEP
04

テーマ毎に
チームで
作戦会議



STEP
05

押しプレゼン



校内ワークショップの内容（例）

アイデア出し

創造的余白を増やすために
みんなで取り組めそうなこと
を考えます



校内ワークショップの内容（例）

アイデアの仕分け

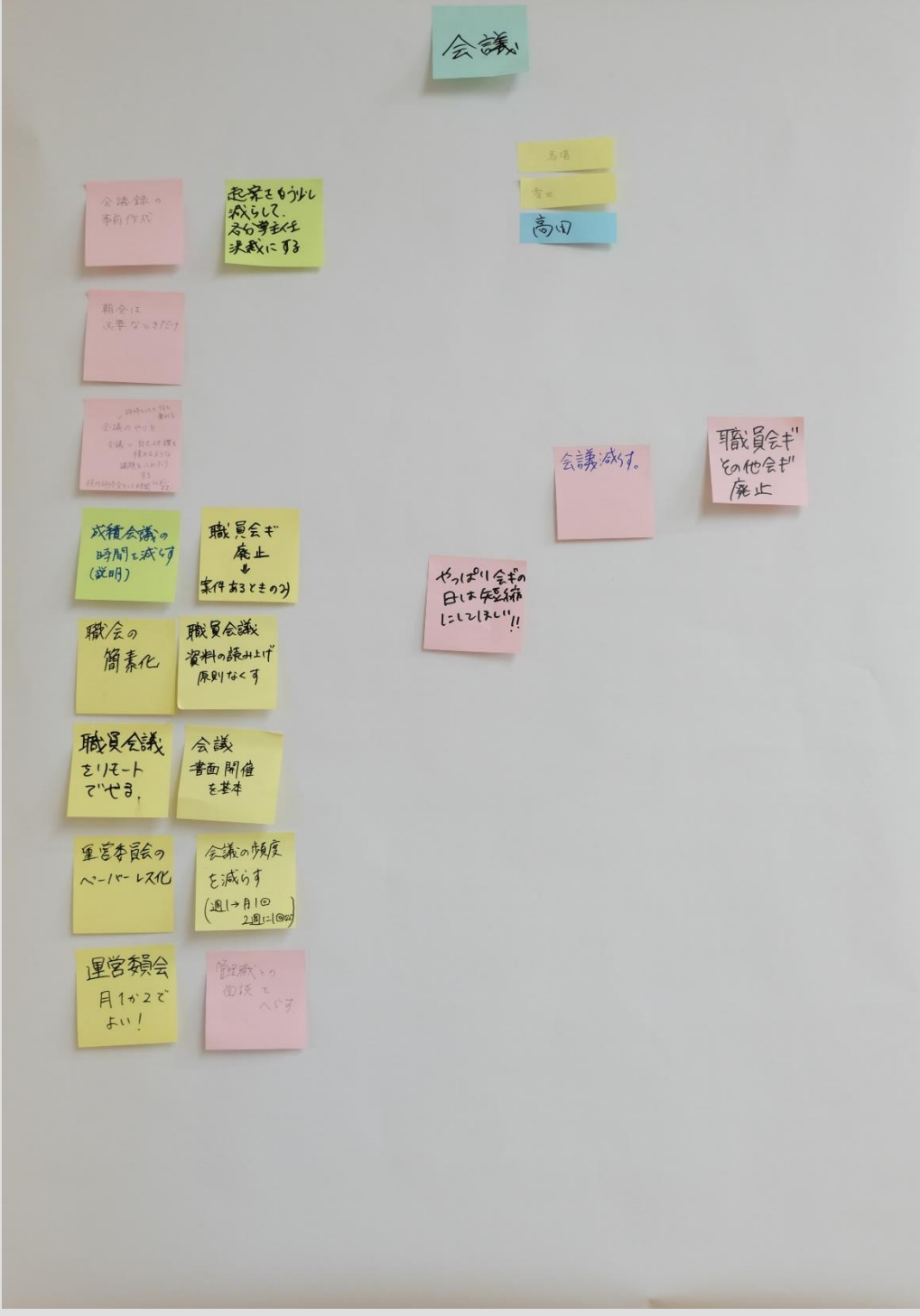
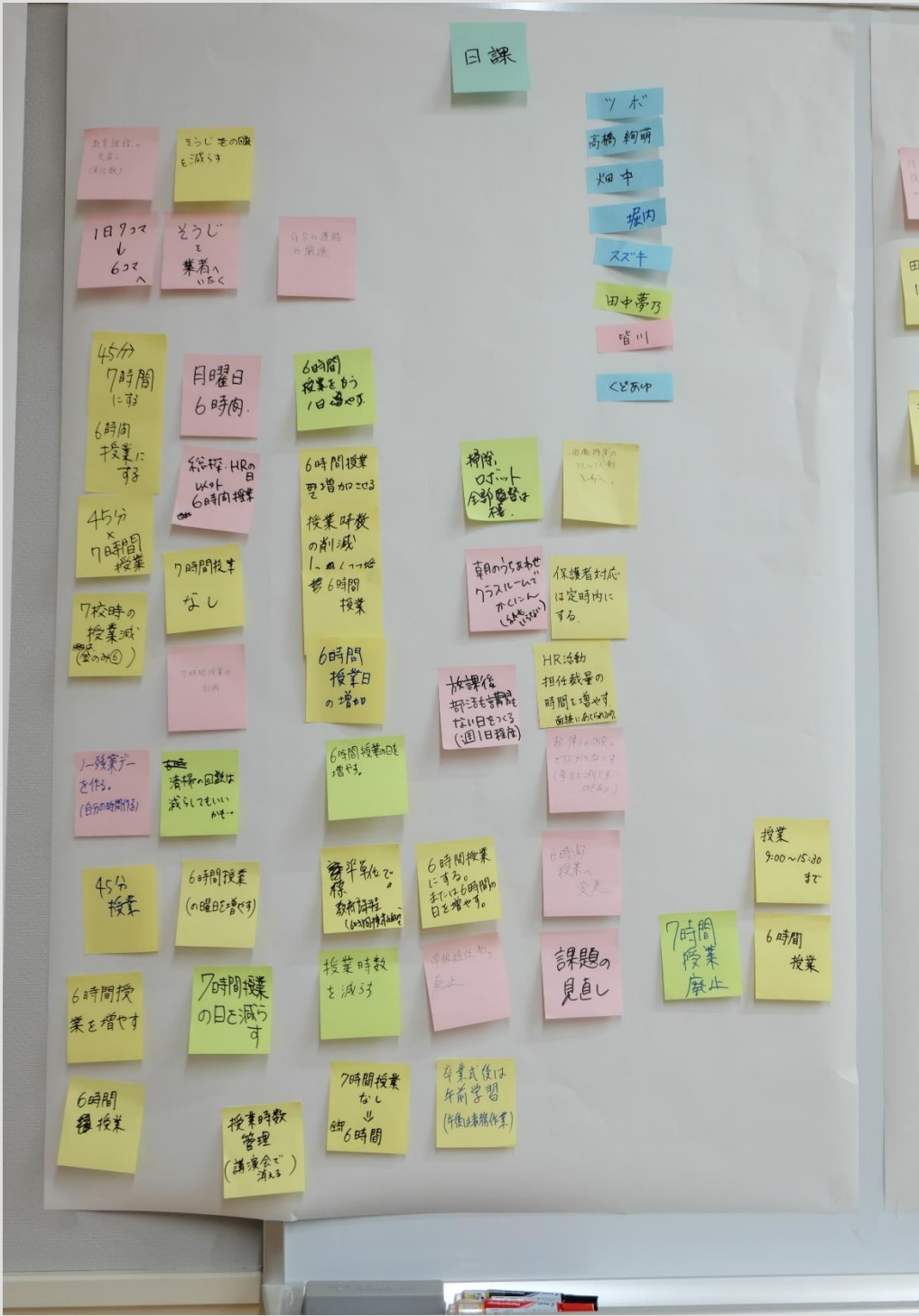
出されたアイデアを
テーマごとに分けて
整理します



校内ワークショップの内容 (例)

テーマ例

事務処理・会議・学校行事・
日課表・部活動
など



校内ワークショップの内容（例）

テーマ選び

どのテーマについて
話し合いたいかを
決めてチームを組みます



校内ワークショップの内容（例）

テーマ毎にチームで 作戦会議

ワークシートを使いながら
現在の取組の価値と課題を
整理して新たな形を見つけます



校内ワークショップの内容（例）

押しプレゼン

話し合った内容を全員で
シェアします



校内ワークショップの内容（例）

アイデア例

日課表の見直し
教科担任制の導入
定期テストや校内模試の精選
校内研修・会議の見直し
など

①【現在の手段】 ・この手段は、だれにとってどんな「価値」があるの？
・本音で言うとしたら、この手段の「課題」はなんですか？

価値	課題
・学習の定着度 ・生徒の学習時間を確保する期間の確保 ・教員へのサポート ・計画が立てやすい	・業務が多い（作題、監督、採点） ・や時期がよくない ・意義がわからない（新学期テスト） ・教員の負担は

②【手段の提案】

③【プロジェクト名】 校内テストの精選

④【実行計画表】 ・担当者の負担が配慮されていますか？

内容	日付	担当者	チェック	配慮点
で提案する日				
に共有する日 (教員や区教委など)				
を実施する日				
日 (など)				
日				

⑤【手段の見直し】 ・みんな（子ども/保護者等/教員）にとって、納得のいく手段になっていますか？
月テスト → 廃止 or 業者テスト (スワッピング)

Project

難易度 (難)

効果 (低)

新学期
テスト
学期中間
廃止

単元テスト
&
勉強 がんばろう週間
(月1.1週間)

ワークショップから業務改善へ（例）



実施校での取組例（試行実施・予定を含む）



日課表

- ・登校時刻にゆとりをもたせる。
- ・児童生徒の下校時刻を早める。

（例）朝読書や朝自習の廃止
週の清掃回数を減らす
余剰時数を見直し、週当たりの授業
時数を減らす



校内会議・校内行事

- ・職員朝会の停止。
（廃止・縮小を見据えた試行実施）
- ・中体連報告会の縮小。
- ・体育祭、文化祭等の平日開催。



合同学習・教科担任制

- ・3、4年生合同で現地学習を実施。
- ・5、6年生合同で体育の授業を実施し、各教員が得意な分野で分担。



テスト・講習

- ・定期考査を週末から週中に変更し、採点時間を確保。
- ・新学期テストの廃止、校内模試の回数削減。
- ・春期講習の廃止。
- ・平常講習の縮小。（日々の時数を削減）



地域・保護者

- ・水泳学習や調理実習等で、学校支援ボランティアを活用。
- ・朝の街頭指導を地域へ移行。
- ・PTA組織の部会を整理し、縮小。

その他



- ・校内研修の見直し。
例）研究協議の在り方や指導案の簡略化。
- ・各種書類の見直し。
例）指導要録の記入の簡略化、前期の通信表
所見欄を三者面談に代える等

伴走型支援事業の効果



教育の質向上

生み出した創造的余白は
日々の授業改善、教育の質向上へ



チーム力UP

職員同士の理解が深まり
日頃から相談しやすい関係に



心理的安全性・ 思考の柔軟性向上

自由な発想「イマイチだったら
元に戻せばよい」の気軽さで



業務の棚卸・振り返り

個人も分掌も日々の業務・
教育活動を振り返るきっかけに

実施校の感想

これまでは、自分の学校の課題について、先生方と気軽にアイデアを出し合う機会があまりありませんでした。

短い時間でしたが、学校を改善するためのアイデアや新たな発見があり、今後もこのような活動が継続されると、学校全体の業務の効率化につながっていくと思います。

校内や職員室で業務改善の話をする先生が増えるなど、校内の意識の変化につながっていると感じています。

ワークショップで出た課題の中には、これまで校内で話題になったものもありましたが、改めて外部のサポートを受けながら話し合う機会ができたことにより、具体的に検討して変えていこう、という機運が高まったように感じます。

ワークショップを通して、「自分たちの気持ち一つでやれることってあるんだな」、「ちょっと工夫することで時間が生みだされるんだな」と、仕事に対する意識や考えに変化が生まれました。